

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

岐阜県 川辺町

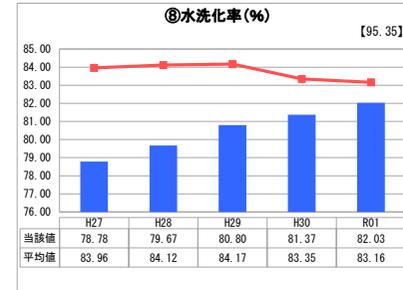
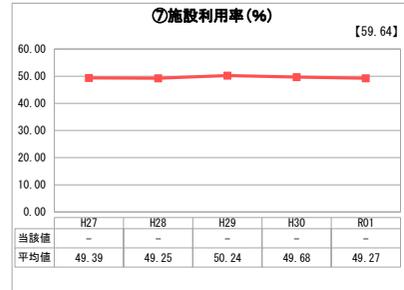
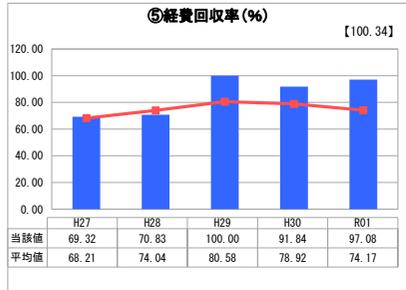
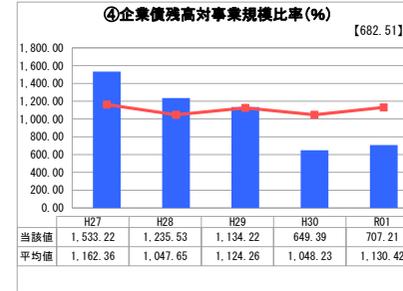
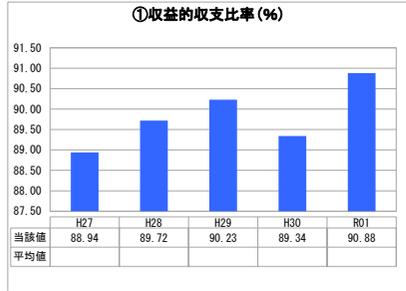
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	96.40	100.00	3,190

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,222	41.16	248.35
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,781	6.08	1,608.72

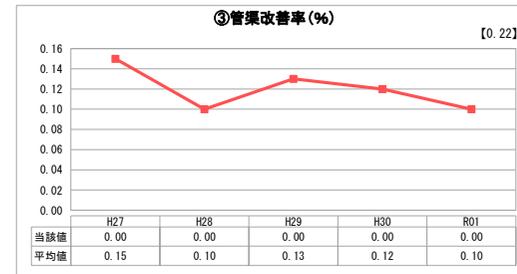
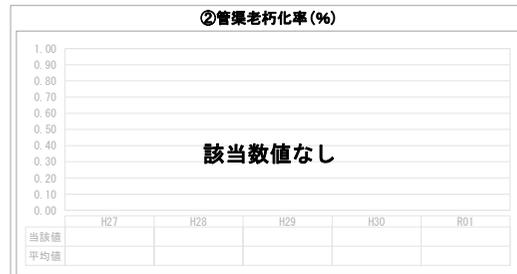
**グラフ凡例**

- 当該団体の値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①令和元年度は前年に比べると改善している。使用料収入で維持管理費の財源は賅えているものの、企業債の元利償還金のほとんどを一般会計からの繰入に頼っている。

④類似団体と比較すると低い数値であるものの、今後も施設改修に伴う地方債の借入が続く見込みである。

⑤使用料収入で経費のほとんどを賅えている状況であるが、今後維持管理費用の増加は避けられない。

⑥類似団体平均を上回っている。

⑧毎年少しずつ、上昇している。

以上のように、全体的に悪い数値となっている。

### 2. 老朽化の状況について

③類似団体平均を下回っている。

管渠については、平成9年度の供用開始からもうも古い管渠で25年を経過しているが、耐用年数は50年であり直ちに更新の必要に迫られることはない。ただし、令和14年度以降は修繕費用や更新費用が大幅に増加することが見込まれる。今後はストックマネジメント等の各種計画に基づき、適切な施設更新を進める。

## 全体総括

公共下水道の経営は、類似団体と比較して全体的に悪い数値であり、「健全・効率的」な経営改善のためには、業務内容の見直しを含め、経費の削減を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。